

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなのおうち玉山			
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 3 日 ～ 2025 年 2 月 20 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 3 日 ～ 2025 年 2 月 20 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2 月 28 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・遊びや体験の機会充実のための環境づくり ・子どもの意向に応じた室内および室外（庭・外出）双方での遊びの機会の提供	・室内では、幅広い遊びを実現できるよう、さまざまな遊具や児童個々で自由に活動するための基本資材等を備えています。 また、利用児童自身の意向を尊重し、必要に応じて職員が寄り添い携わりながら、多様な遊びの機会の充実に努めています。 また、室外では、日々の庭遊びや外出体験の機会を活用して、活動の中で遊びの選択肢が狭まらないよう努めています。	・日々の活動の中で、自由遊び、集団および個別プログラム活動の双方において、利用児童個々のニーズや意向を尊重しより多様な機会の充実を図っていく。また、適宜必要な環境調整や遊具等の拡充に努め、利用児童一人ひとりが希望する遊びや過ごし方の充実を図っていく。また、職員それぞれの強みなども活かし、利用児童個々に寄り添う支援に努める。
2	・個別の支援目標に応じた支援計画と支援プログラムの充実 ・支援の5領域を踏まえた支援プログラムの幅広さや、季節の行事等を取り入れた活動の多様さ	・定期的なモニタリングや、適宜保護者様の意向のもとで行う面談等の機会を通じて、可能な限りきめ細やかなニーズ把握に努めており、また、策定された個々の支援計画に準じて、活動プログラムを作成・調整し、その充実に努めています。また、季節毎の行事や遊び等を積極的に取り入れ、室内も季節模様に彩るなど、多様な活動や空間の調整に努めています。	・今後より一層、きめ細やかなアセスメントやニーズ把握に努め、日々の具体的な支援内容や支援プログラムにつなげることができるよう、職員全員で研鑽に努め、日々の情報共有および振り返りを徹底しながら、支援の充実に努めていく。また、個々の利用児童様の意向に応じて、活動を柔軟に調整するなど、安心して活動できる環境づくりに努めていく。
3	・夕涼み会（利用児童・保護者様およびご家族の皆様対象）の開催をはじめとした事業所行事の開催、ならびに地域団体との協働のもと定例開催していることも食堂（「みんなの食堂」）等の地域行事の充実	・事業所行事として開催しているいくつかのイベントのうち、夕涼み会については、多くの利用児童、ご家族ご親族の皆様に参加いただき、今後ともご意見やご要望を取り入れながら開催を続けていきたいと考えている。また、事業外ではあるが、地域行事の一環として参画していることも食堂の機会では、一部の利用児童も、ご希望のもとボランティアを行って頂いており、職員も活動に携わりながら、地域社会への一つの参加の機会となるよう、個別の配慮に努めながら、多様な機会の提供および活動の充実に取り組んでいる。	・特に事業所行事については、今後より一層の機会の充実に努めていきたい。現在行っている夕涼み会等の事業所行事に加え、保護者様やご家族の皆様のご意見やご要望を伺う中でその内容も充実させていくなど、改善と向上に努め、多様な機会の提供に取り組んでいく。また、事業外の活動ではあるものの、現状、地域社会との関係性においても重要な活動となっていることも食堂等の機会も積極的に拡充・情報周知を図り、利用児童や保護者様のご希望やご要望に応じて柔軟に調整を行うなど、機会の拡充と提供に取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・様々な業務改善を図る上でのPDCAサイクル等が十分に機能していない側面があった。 ・課題提起や改善目標は従業者会議等で一定数挙がるものの、その一部が十分に実行に移せていない（または実行が遅れる）ことが少なからずあった。	・課題提起や改善目標が挙がった際に、計画が口頭確認のみに留まってしまい、実行が遅る、または実行に向けた細かな調整等に移せない事案が散見された。さらには、実行後の評価等に関しても定期的に行うことが十分にできておらず、より一層の改善につなげることができていなかった。総じて、具体的なPDCAサイクルとしての形式化や習慣化が弱くなっていた。	・課題提起や改善目標が挙がった際には、滞りなく具体的な改善計画に落とし込み、個々の要素については適切な分担や進捗度を図る管理システムを確立する。その上で、従業者全員で協力して実行にあたり、一定の進捗ごとにその評価を従業者全員で行い、共通理解を確認した上で、さらなる業務改善につなげることができるよう、プロセスの定着に取り組む。
2	・生活空間の適切な位置づけと整理にもとづく機能分化や安全衛生管理に課題があり、安心して過ごすことができる環境とは十分に言えない側面があった。 ・対応策の検討や実行に一部進捗は見られたものの、安全衛生管理については個々の空間に課題が多くある。	・特に安全衛生管理に関しては、定期的な点検や、点検により報告された事項の改善が遅れる（または不十分である）事例が散見された。PDCAサイクルとしての課題は前項の通りであるが、計画につなげるための点検・調査が未だ緒についたばかりであり、より一層の改善につなげる必要がある。	・生活空間や行動上の安全衛生管理については、個々の利用児童の特性や健康状況に十分留意した上で、定期的に点検や見直しを実施する体制構築が不可欠である。その上でPDCAサイクルの実施に落とし込み、その改善と向上に絶えず取り組む必要がある。また、併せて日常的な整理整頓を行うよう習慣化し、安全衛生保持に絶えず努めていく必要がある。
3	・従業者の支援の質の向上・改善と、個別支援計画を踏まえた日々の支援内容の向上、ならびにその記録・情報共有の徹底。 ・現在は十分にに取り組むことが出来ていない学習研修等を含め引き続き研修・訓練等の機会の拡充に努めると同時に、日々の支援の振り返りをより一層具体的に行っていく必要がある。	・今年度より、昨年度以上の研修体制を整えるよう再整備を図ったが、今後は、より一層の定着に努める必要がある他、その機会の拡充にも努める必要がある。また、研修・訓練のみならず、日々の支援の具体的な振り返りや改善に向けた具体的な目標の設定が不可欠であり、現状は項目1記載の業務遂行上の課題も相まって、十分に行えていない側面もある。	・現在、児童発達支援管理責任者を中心に年間研修計画を定めており、今後も引き続き、さまざまな研修・訓練の機会を拡充する必要がある。また、事業所内外の学習研修等を受講した後の定期的な振り返りの機会も今より充実させ、計画を踏まえた日々の支援の振り返りにより具体的につなげていく必要がある。重ねて記録等の充実にもより一層努めていく。
4	・特に、事業所情報や緊急時対応訓練等の実施状況について、訓練計画・対策マニュアル等の定期的な報告とともに、十分にその情報を保護者様に共有できていない側面がある。 ・また、保護者会等の開催をはじめとした機会や情報の提供も未だ部分的なものにとどまっており、総じて、日々の支援内容含め、機会や情報の保護者様との共有が弱い現状がある。	・訓練計画および訓練実施状況、ならびに対策マニュアル等の情報共有に関しては、対策マニュアルについては玄関掲示のみであり、訓練実施状況については日々のサービス提供記録等の一部記録を行っているものの、事業所内実施報告書等の資料の公開には至っていない。情報共有の方法や内容に課題がある。 ・保護者会等の開催については、一部開催実績はあるものの、開催方法等に見直しが必要であり、機会の充実が必要である。	・事業所に関連する情報の共有方法については、保護者様のご意見を伺いながら、適切な情報共有を図っていく。HP等の活用やICTの導入も検討を進めながら、日々の活動の様子等についても保護者様との情報共有の充実に努めていく。また、次年度は、保護者会等の開催に関連して、より多様な機会の提供に取り組んでいくと同時に、より一層ご意見やご要望をお寄せ頂きやすくなるよう、環境等の見直しに努める。